

一 般 質 問 総 括 表

(令和7年3月議会定例会)

No.1

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
大場洋介	1	持続可能な町政運営について	国では昨年の12月20日に税制改正大綱を決定し、地方財政にも大きな影響があるとされている。日々情報が更新される中で、町における事業執行と町民サービスへの見解は。 ① 「年収103万円の壁」廃止による町政におけるインパクトを町長に伺う。 ② 当町における見込み減収額に対する所感と代替財源の確保への対応等を町長に伺う。 ③ 具体的に検討している事業や保育料無償化・学校給食無償化への影響を町長に伺う。 ④ 高齢者世帯や低所得者などへの支援の方向性は。 ⑤ 年収が引き上げられた場合の違いやメリットは。	町長 総政 町税 健福 教学
	2	部活動の地域連携や移行に向けた環境について	① スポーツ庁・文化庁で示されている「部活動の地域移行に向けた環境の一体的な整備」が残り一年と期間が迫る中で、休日の部活動の地域移行が予定通りに完全移行・実施できる見込みなのか。現状と課題を伺う。 ② 事業内容の地域クラブ活動への移行に向けた実証事業の成果と方向性は。	教学

一 般 質 問 総 括 表

(令和7年3月議会定例会)

No.2

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
須藤典夫	1	新庄インターチェンジ付近「道の駅」勉強会について	最上広域市町村圏事務組合で開催されている「道の駅建設勉強会」ではどのような話題になっているのか伺いたい。	環整
	2	旧神室放牧場借地の返還交渉に決着を	旧神室放牧場のカムロ温泉裏の牧草地はカムロファームに引き継がれ活用されているが、荒廃していた別の放牧地については、平成20年9月議会決算特別委員会で荒廃に至る問題を取り上げ、借地の返還を要望してきた。当時の答弁では「無理に借りた事情もあり、一方的に返還するのは難しい。」とのことだったので、協議を申し入れることになった。しかし、土地所有者である「有屋山林組合」等から協議中止の要望が町に出された。「理由の一つには賃貸料は個人への分配ではなく、有屋小学校への教育支援、文化、地域活動への支援、町の育成会への寄付等に活用されていること。2つ目の理由としてグリーンバレー一体に放牧場も含めて一括して貸している。」との理由である。 これを受けて町は「すぐには返すことはできない」とし、協議は中断している。その後、「ワラビ園」への転用なども提案され、牧柵、バラ線の撤去工事（令和5年に完了）を行ったが活用されるまでは至らなかった。 神室放牧事業は令和2年に終了した。 行財政改革の観点からも返還協議を再開すべきではないか。 現在の借地面積 536,532㎡ 賃借料 380,089円	総政

一 般 質 問 総 括 表

(令和7年3月議会定例会)

No.3

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
中村忠行	1	2025年問題に対する対応は。	2025年は団塊の世代が75歳以上となり、日本が超高齢化社会を迎えることで生じるさまざまな問題があるとされている。町では総合発展計画や過疎地域持続的発展計画などで対応を検討されているが、想定を上回る人口減少に向かっている。このことを踏まえ以下の2点について伺う。 1. 高齢者に対する地域包括ケアシステムの機能強化が必要なのではないのか。 2. 人口減の中で高齢者比率が高くなっており、町職員の負担が増えると懸念される。一方では人口減による職員の事務量減少はわずかであるとも考えられる。高齢者増による行政構造の改善について、また町職員や会計年度職員の業務の在り方と職員規模の考えは。	健福 総務
沼澤道也	1	発想の転換をする職員育成について	1. 令和7年度のプロジェクトチームの実施と課題決定は。また、今までの取り組みにおける課題は何か。 2. 前年踏襲主義からの脱却を目指す職員像、仕事の仕方、職員教育をどう考えているか。 3. 役場職員らしくない職員育成は難しいのか。 ※ 人口減、高齢化の中で職員は何を考え、地域でどう動くのかを期待するための質問とする。	総政 総務
矢口政一	1	町で医師の誕生・育成支援策は出来ないのか	わが町に於いて、医者確保が大変厳しい状況にあり、少子化と共に、医者の不在も危惧されます。 金山町には、財源的には厳しいが、医師を目指せる優秀な子供たちがおります、その子供たちが、目標を定めて挑戦可能な支援制度を、町として整備出来ないか。	総政 診療所
	2	「金山町の風景と調和した街並み景観条例」の存続策は	条例制定後約40年、街並み景観も、全国的に評価されるようになりました、社会情勢の流れに伴い、現基準の緩和・改正策について町長の考えを伺う。	環整